

第161回 創薬科学セミナー/ CIBoGセミナー

日時：2022年12月14日（水曜日） 17:00-18:30

開催方法：オンライン（Zoom）

小根山 千歳 先生

愛知県がんセンター 研究所 腫瘍制御学分野 分野長

がんシグナルによる エクソソーム産生亢進メカニズム

細胞外小胞は、液性因子、細胞間接着に次ぐ第三の細胞間コミュニケーションシステムと言われている。エクソソームは細胞内のエンドソームに由来する細胞外小胞であり、がん化など細胞の状態変化に応じてその「量」、および「質」すなわち内包分子が変化する。この点から体液中エクソソームによる疾病診断の実用化研究が着目されてきた。しかし、がん細胞においてエクソソームの変化をもたらす分子メカニズムの詳細は不明であり、その意義も明らかとはいえない。私たちは、代表的なチロシンキナーゼSrcのがん進展における役割を研究する中で、Srcによる細胞のがん化とエクソソーム産生亢進との関わりを見出した。また、それを契機として、MAPKやmTOR等のがんで亢進するシグナル経路が、エクソソーム産生を増加させるメカニズムを明らかにしてきた。この過程で、発光エクソソーム分泌細胞系と、それを応用したエクソソームのin vivoイメージング系を開発し、新規エクソソーム阻害剤の探索やその作用機序解明への応用を進めている。本講演では、がんシグナルによるエクソソーム産生亢進メカニズムと、それを基にしたがん細胞由来エクソソームの制御の可能性について紹介する。

みなさま、奮ってご参加ください！

本セミナーの受講希望者は下記URLまたはQRコードより受講申請を済ませてください。

<https://forms.gle/JyBDVtZXnctcPywU6>

連絡先：創薬科学研究科 構造分子薬理学分野
廣明 秀一（内線4535）

